

事例 10 生産性向上に向けた日報管理に関する検討会

(九州森林管理局 大分西部・宮崎森林管理署)



- 大分県 日田市（ひたし）
日田市勤労者総合福祉センター・
サンヒルズひた
- 日報管理に関する検討会の様子



- 大分県 中津市（なかつし）
平鶴（ひらづる）国有林
- 現地検討会の様子

九州森林管理局では、令和7年度までに、1人1日当たりの生産量を主伐で 12.9m^3 （平成27年度時点で 6.5m^3 ）、間伐で 8.2m^3 （平成27年度時点で 3.9m^3 ）とすることを目標に、日報を活用した工程管理による生産性向上の手法（図-4参照）の普及を進めています。

令和元年度は、大分西部森林管理署と宮崎森林管理署との共催による検討会を開催し、森林管理署職員のほか、地元の林業事業体が参加し、意見交換等を行いました。検討会では、工程管理の優良事例として久大林産株式会社が行う効率的な林業機械マネジメントとスケジュール管理の手法を学び、日報管理や工程管理についてのグループワークを行いました。さらに、国有林の伐採現場において、参加者同士で意見交換を行い、現場での工程管理の活用について理解を深めることができました。

今後、優良事例を関係機関等に共有することで、生産性向上に向け効果的な手法の普及・定着を図っていきます。